

# 放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID	検査	MR	外来
NAME	依頼医	院内 外科	先生
年齢	38Y	放射線科	
性別	F	備考	住所・電話番号・診断名
検査日	2007年11月16日		紹介目的・既往歴・家族歴

## <臨床情報>

右乳腺腫瘍

A領域  $\phi$  11mm

C/D領域  $\phi$  13mm

## <画像所見>

右乳房MRI

左A領域に直径10mm/C領域に12mmの円型の腫瘍が認められご指摘の所見と考えます。所見の境界は比較的明瞭です。スピキュラの形成の所見は明らかではないと考えます。所見はT2強調画像で著明高信号/T1強調画像等信号を呈しています。T2強調画像の信号は線維腺腫を疑わせる高い信号ですが、ダイナミックにて100秒程度をピークにする強い早期濃染が認められています。後期相で軽度wash outと示して認められ乳癌を疑わせる造影パターンと考えます。乳癌としてはT2強調画像の信号が高い印象で組織型の判別は今回検査では困難です。今回検査にて周囲に浸潤を疑わせる所見は明らかではないと考えます。

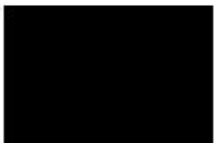
D領域末梢にT2強調画像著明高信号/T1強調画像高信号/造影にて1000円造園効果を示す円形の領域が認められています。T2強調画像から線維腺腫を疑いますが上記所見あり、FNAの所見加味して下さい。

## <Impression>

左A領域に直径10mm/C領域に12mmの円型の腫瘍が認められご指摘の所見と考えます。ダイナミックにて100秒程度をピークにする強い早期濃染が認められています。後期相で軽度wash outと示して認められ乳癌を疑わせる造影パターンと考えます。乳癌としてはT2強調画像の信号が高い印象で組織型の判別は今回検査では困難です。

別紙の参照画像をご覧下さい。

患者ID  
患者名  
NAME



検査日 2007年11月16日  
依頼医 院内 外科 [redacted] 先生  
備考

外来

年齢 38Y

性別 F

検査 MR

参照画像

